

田中 晋矢 (たなか しんや)

2009年度 COE フェロー

連絡先: stanaka@wd5.so-net.ne.jp

専攻分野: 時系列解析、応用計量経済学

研究テーマ: 非定常時系列における推定及び検定論の理論的研究

博士学位請求論文題目 (予定): "Essays on Nonstationary Time Series: from Theoretical and Empirical Perspective"

## 学歴

2005年3月 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業

2005年4月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程 (経済理論・経済統計専攻) 入学

2008年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程 (経済理論・経済統計専攻) 修了、修士 (経済学)

2008年4月 一橋大学大学院経済学研究科博士課程 (経済理論・経済統計専攻) 入学

2009年10月現在 同課程在学中

## 職歴

2008年4月～2008年7月

一橋大学経済学研究科 中級計量経済学TA (担当教員: 山本拓教授)

2008年10月～2009年3月

一橋大学経済学研究科 上級計量経済学TA (担当教員: 黒住英司教授)

2008年10月～2009年3月

一橋大学グローバルCOE 「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」 COE フェロー

2009年4月～2009年7月

一橋大学経済学研究科 中級計量経済学TA (担当教員: 黒住英司教授)

2009年10月～2010年3月

一橋大学経済学研究科 上級計量経済学TA (担当教員: 下津克己教授)

2009年4月～2010年3月

一橋大学グローバルCOE 「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」 COE フェロー

2009年4月～

立正大学法学部非常勤講師 (「近代経済学 I」、「近代経済学 II」担当)

## 研究業績

- ・ ディスカッションペーパー等

Tanaka, S., and Shiohama, T. (2005), “Effects of the Age Distribution on the Long-run Relationship between Consumption and Income in Japan,” mimeo.

Kurozumi, E., and Tanaka, S. (2009), “ A Simple Test for Stationarity with Less Size Distortion,” mimeo.

Kurozumi, E., and Tanaka, S. (2009), “ Reducing the Size Distortion of the KPSS test,” Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series No.85, Hitotsubashi University.

田中晋矢 (2008) 『構造変化を考慮した非定常時系列分析—方法論及び実証分析への応用』、修士論文.

- ・ 研究報告

“Effects of the Age Distribution on the Long-run Relationship between Consumption and Income in Japan,” Hitotsubashi Conference on Econometrics 2006, 一橋大学, 2006年1月. (共同報告者：塩濱敬之氏) [事前審査有]

“A Simple Test for Stationarity with Less Size Distortion,” 経済統計ワークショップ, 一橋大学, 2008年12月. [事前審査無]

“Rethinking of the Hypothesis of Stationarity: Bias Correction of the KPSS test,” 経済統計ワークショップ, 一橋大学, 2009年7月. [事前審査無]

“A Simple Test for Stationarity with Less Size Distortion,” 統計関連学会連合大会, 同志社大学, 2009年9月. (共同報告者：黒住英司氏) [事前審査有]

## 受賞

2005年3月 早稲田大学政治経済学部 学部長奨励賞 受賞

## 照会先

黒住英司 (一橋大学大学院経済学研究科教授、指導教員)

浅子和美 (一橋大学経済研究所教授、副指導教員)